



もうすぐ12月で寒くなり始めました。ポーポキには毛皮があるので、外で走り回ることが好きです。でも、あたたかいお部屋の中にいるのも好き。あなたが住んでいるところに冬はありますか？あなたは冬が好きですか？

## Popoki's Hot News!

Coming soon!



その1 ポー年会！ 12月25日に決定！  
参加希望の方は、ろにゃんに12月20日までにご連絡ください。  
(できれば、20日より前にご連絡いただきたい・・・)。



その2 1月13日(日) 絵と絵本と医療と災害の持ち寄り  
パーティ パート2 「避難袋に+1品」開催！  
詳しくは、7~8ページをご参照ください。  
子どもも大人もどなたでも参加できます！ 無料！

「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちの Ardhia にゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。「平和は、私たちが持っているものに対する感謝の気持ちです。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。  
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

## どうして水が大事ですか？水はどこから来るの？水循環は何ですか？

らにゃん

大人は、日常の生活だけでも考えることがいっぱいあって、毎日の暮らしの中で水の重要性についてあまり考えたりはしません。私もそうだ。あたりまえのことだからと思いました。



兵庫医療大学でさとにゃんが行ったワークショップ「健康って、なに色？」に参加してから、水についてちょっと考えるようになり、水の重要性に気づいて、水のある生活に感謝するようになりました。

ワークショップはいくつかのセクションに分かれていました。子どもも大人も小さなうさぎちゃんも一緒に楽しんで、アイデアや考えなどをシェアすることができました。平和、健康、安心についてみんなの意見を共有し、大人も子供もポーポキの本を読み聞かせることを楽しんで、一緒に絵を描く活動もすごく面白かった。その後一緒に海の前に行って水の質について考えました。全部の水は違う！汚いとかきれいとか、ミネラルが不足しているとか、ミネラルが多い水もあります。

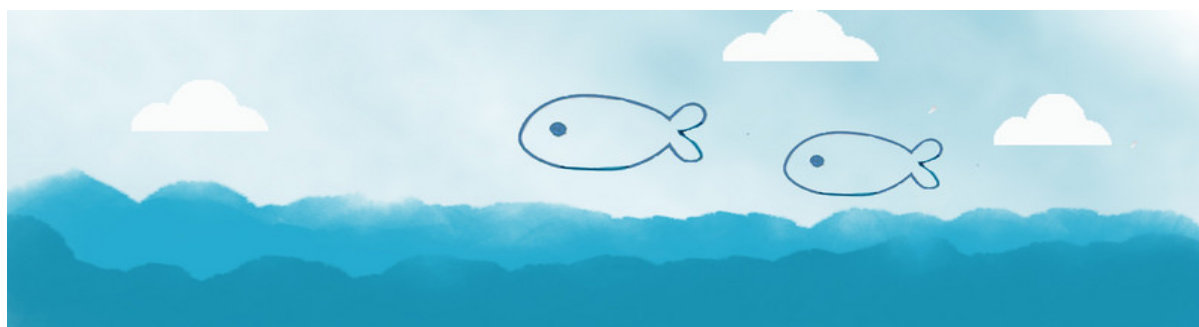
さとにゃんは6本のペットボトルの水を並べて、どれが飲みたいかと聞きました。「違いは何ですか」、「形でもキャップでも色も同じですよ」と子どもたちは驚きました。

最終的に、その秘密が明らかになりました。福島県の水も普通のペットボトルの水も7年保管できる水もありました。



水は人の生活で不可欠なものです。水は海や雨や水道やペットボトルの水や水たまりなどです。

水は何ですか？ 水の重要性について、考えることはありますか？



## ポーポキ友情物の布@インドネシア

ろにゃん

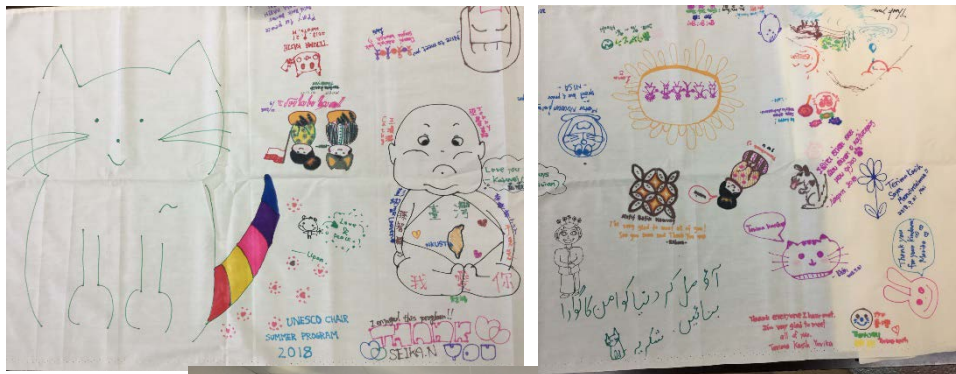
9月にインドネシアで開催されたユネスコチェアサマープログラム「ジェンダーや脆弱性に配慮した減災支援」にポーポキはいろいろな形で登場しました。その一つは、ポーポキ友情物語の布です。

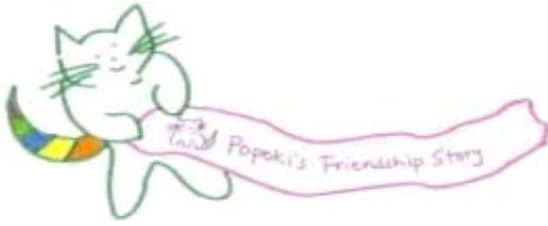


最初に頃、ろにゃんの講義のあとにみなさんが左の写真のように描いてくれました。でもこの時点ではみんなはまだ仲良くなっていませんでした。でも、最後の日に新しい布を出しました。このサマープログラムは4回開催される予定ですので、今回は最初の4分の1だけを使って、みんなに描いてもらいました(右の写真)。4年後には、4年間の参加者の思いがいっぱい詰まっているものになります。



今年は台風のために出発が遅れ、しかも関空ではなく羽田空港から出発しました。インドネシアで災害について学び、災害対策を行っている人々や被災者にも話を聞きました。みんなが無事でありますように！みんなが気持ちをこめて描いてくれました。





## \*Popoki's Interview\*

Uki Novianaさん  
ろにゃん

ユネスコチェアサマープログラムで、ウキ先生は学生にとっても面白い課題を与えました。その面白そうなウキ先生にインタビューをお願いしたら、同意してくれました。以下が先生からの回答です。

私はよろこんでポーポキの友だちになっているので、質問に答えます。

1. あなたご自身や、あなたのお仕事について教えてください。

--> 私はウキ・ノビアナです。ガジャマダ大学看護学科の教員です。

2. なぜ、災害に関心を持っているのですか。なにか、災害関連の仕事から特別のお話を共有していただけませんか。

--> 2010年にメラピ山が噴火したとき、私は病院で被災者手当てをする看護師のお手伝いをしていました。トラウマ治療活動にも参加しました。このボランティア活動に参加してわかったことは、看護師として被災者に何もできませんでした。でも、何かがしたいと思っていました。

だから、修士課程や博士課程で私の研究は被災者を対象にしました。看護師が被災者を支援するための看護支援プログラムを開発しました。

被災者のコミュニティの一人として参加していることは、彼らをもっと支援するための原動力になっています。復興し、より良いコミュニティをつくるために彼らから学び、そして一緒に働きたいと思います。

3. ポーポキの友だちでもあります。いつ頃、そしてどこで初めてポーポキと出会いましたか。ポーポキやポーポキの活動について、なにか共有してくれませんか。

--> 私がポーポキと出会ったのは、この夏にガジャマダ大学で開催されたサマーコースのときです。ポーポキの活動は、私が2006年のジョグジャカルタ地震の災害ボランティアをしていたときを思い出させてくれました。私は被災者を支援したかったけれど、ボランティアとしてなにをすれば良いかはわかりませんでした。ポーポキの活動をみて、ポーポキのようにボランティアはいろいろな社会的支援ができると気づきました。

ポーポキのような社会的支援は、一般のボランティアでもできます。このような支援は、避難所で日常生活を取り戻そうとしている被災者にとってとても重要なものです。被災者は衣食住だけではなく、心の支援もとしています。そのような心の支援がなければ、精神的な問題になる可能性があります。だから、このような支援は、災害被災者の精神的な問題の予防に貢献できると思います。

4. 日本や世界にいるポーポキの仲間にメッセージはありませんか。

災害は世界中に起こります。ポーポキの友だちがたくさんの国にいるといいです。なぜなら、災害が起こると、お互いを支援できるからです。

実は、私の小さい娘のお話を共有したいです。毎朝、彼女は庭に出て、母猫の子猫たちがあそんでいるのを見たりしていました。ある日、娘は帰ったとき、母猫が彼女のあとをついてきました。先日、娘は猫たちを見てから近所の人のお家に遊びに行きましたが、帰るときにその人の猫がついてきた。そしてけさ、娘のあとに3匹のねこがついて歩いていたのです。このねこたちは、私たちにしあわせをはこんできます。ポーポキはインドネシアを訪ねて、私と仲良くなりました。ポーポキはたくさんの友だちをつくり、世界中の人たちにしあわせを運ぶと思います。



(写真：グループプロジェクトを進めている学生たち。岡田順子さん撮影)

# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

## Lesson 126

今月のテーマは、肩こりを解消しましょう！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、立ちましょう。力いっぱい肩を耳まで上げて・・・！！そして、ドン！と落とす。できましたか？じゃ、もう一回。しっぽもね。
3. 次は右手を頭において、腕の重みで首を右へ。そして、左手を頭において、首を左へ。
4. 最後にお尻をあげて、体で三角の形を作りましょう。ダウンドッグです。
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！  
お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？



次回のポー会：12月25日 19:00～ 豆の畑(新神戸) ポ一年会をかねて！

- 12.25 ポ一年会！「豆の畑」(新神戸店)。みんなでおいしいものを食べて、今年の一年間をふりかえりましょう。参加希望者は遅くとも12月20日までにろにゃんへご連絡ください。
- 1.13 13:30～16:00 アートと災害の持ち寄りパーティ パート2 「避難袋に十一品」  
会場：神戸学生青年センター。詳しくは次頁をご参照ください。
- 2.8～11 ポーポキ in 大槌町！(予定)  
ポーポキの友だちから  
新しい絵本：中條聖子著、ロニー・アレキサンダー訳『森のかんづめ』(日英版) エピック  
2017年

# 絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティ Part 2

Pot Luck Party with Drawings & Picture Books & Medical Care & Disaster

「避難袋に十一品」 “+One Item in your Emergency Kit”



「皆で安全・安心を描こう！安全・安心な社会を語ろう」  
“Let’s draw being and feeling safe! Let’s talk about a society where we can be and feel safe”



日時 2019.1.13 (日) (13:30~16:00)

場所 神戸学生青年センター Kobe Student Youth Center  
兵庫県神戸市灘区 山田町3丁目1-1 <http://ksyc.jp/>

問い合わせ先 ポーポキ・ピース・プロジェクト FAX 078-304-2790

Information Popoki Peace Project e-mail [ronniandpopoki@gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com)

## メッセージ・Message



私たちは日常生活の中で、「不安」になるきっかけが多数あります。その一つは「災害」です。避難勧告が出たら、どうすればよいかは考えることがあっても、自分や周りの人を落ち着かせる方法や元気をつける方法まではあまり考えることがないと思います。私たちはみんな、不安がるものも安心できるきっかけも異なっています。今回の「もちよりパーティ」では、さまざまな「安心」をもちよって、より安心できる生活についてお話をします。

## プログラム・Program

- 13:00 受付開始 Registration
- 13:30 あいさつ Greetings
- 13:35 紙芝居 「ポーポキ、安心、描ける？」  
*Kamishibai: “Popoki, Can you draw feeling safe?”*
- 13:45 トークタイム Talk time  
ゲスト Motomochi Sachiko 元持 幸子 さん (岩手県大槌町在住・特定非営利活動法人つどい 事務局長)
- ゲスト Akagi Shuji 赤城 修司 さん (福島市在住・写真家)
- 14:30 休憩タイム Break
- 14:40 お絵描きタイム Drawing time  
みんなで紙芝居をつくります！ Making  
*kamishibai* stories!
- 15:30 発表タイム Presentation time



## 絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティ Part 2

Pot Luck Party with Drawings & Picture Books & Medical Care & Disaster 2

### 特別ゲスト紹介



元持幸子（もともち さちこ） 特定非営利活動法人つどい  
事務局長

東日本大震災時、緊急救援活動を岩手県釜石市・大槌町にて行う。翌年、故郷の大槌町を拠点とした「特定非営利活動法人つどい」を立ち上げ、住民の集まる場のコーディネートや人材育成等を行う。これまで、病院や地域医療・地域福祉分野で理学療法士として勤務、英国障害者施設や青年海外協力隊派遣などの経験も加わり、多様性ある暮らし・地域づくりを実践していきたいと活動中。震災復興に向け、住民力を出し合おうと結成された大槌町 NPO ボランティア団体連絡協議会の会長として、地域力向上を目指している。

Participates in emergency relief activities in Kamaishi and Otsuchi-cho, Iwate Prefecture, after the Great East Japan Earthquake. The following year, she established the NPO 'Tsudoi' in her hometown of Otsuchi, coordinating activities to give residents a place to gather and foster leadership. She has worked in healthcare as a physical therapist, and after gaining experience in a British facility for people with special needs and the Japan Overseas Volunteer Corps, she decided to work to create a lifestyle and community with respect for diversity. As the director of the Otsuchi-cho NPO Voluntary Organization Network, she is working toward recovery and the full implementation of cooperative community power.



赤城修司さん（あかぎ しゅうじ）

1967年、福島県生まれ。筑波大学芸術専門学群洋画コース卒業。青年海外協力隊員美術教師として1994年から2年間ブルガリアで活動。2011年3月、東京電力福島第一原子力発電所事故をきっかけに、福島市内を写真で記録し、Twitterで発信し始める。2015年、写真集「Fukushima Traces, 2011-2013」刊行（オシリス）。2016年、BS11「アーサー・ビナード 日本人探訪」出演。出品展覧会に、2013年「未来の体温 after AZUMAYA」（山本現代、アラタニウラノ）。2014年「Transmission」（スタジオ35分）。2015年「Don't follow the wind」（福島県の帰還困難区域内）。2016年「種差デコンタ 2016」（八戸市美術館）、「Perpetual Uncertainty」（スウェーデン、ウメオ美術館）など。

1967 Born in Fukushima Prefecture. Graduated from the Western Painting Course in the Art Department of Tsukuba University. From 1994-1996, he worked as an art teacher in Bulgaria as a member of the Japan Overseas Volunteer Corps. 2011.3 After the TEPCO Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident, he began taking photos in Fukushima City and publishing them on Twitter. 2015 Published collection of photos called *Fukushima Traces, 2011-2013* (Oshirisu). In 2016, he was featured on BS11 "Arthur Binard Looking for Japanese". Among his exhibitions are: "未来の体温 (Mirai no Taion) after AZUMAYA" (2013, Yamamoto Gendai, Arataniurano), "Transmission" (2014, Studio 35 minutes), "Don't follow the wind" (2015, in the Fukushima Pref. exclusion zone), "Species Difference Dekonta" 種差デコンタ 2016, (2016, Yao City Art Museum), "Perpetual Uncertainty" (2016, Umeo Art Museum, Sweden).



ポーポキ

神戸生まれの平和が大好きなねこ。最近では安全安心に興味。みんなと友だちになって、仲良くしたい。A cat born in Kobe who loves peace. He is interested in being and feeling safe and wants to be everyone's friend.



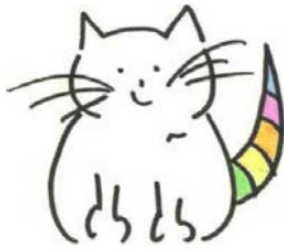
# Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー :

<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』 No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇宙賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: [blrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp)
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8 10





## 私にとってポーポキ

こんにちは。神戸大学国際協力研究科 M1の上原直子です。  
私がポーポキと出会ったのは、ロニー先生の授業「Issues of Peace and development」という授業です。この時は、「ふーん、ネコかぁ・・・」と思う程度でしたが、インドネシアでの海外実習などで、ポーポキとともに学ぶ中で、女でも男でも LGBT でもなく人でもない「ネコ」のポーポキを通して、この世界を見ることの面白さ、平和とは何かを考えることの大切さを感じることができたと思います。私の知るポーポキは氷山の一角かもしれませんが、それをここでシェアしたいと思います。

私がとくにポーポキのことを知ることができたのはインドネシアでのユネスコチェア・サマープログラムでグループワークに取り組んだ時です。防災計画を学生で考えるアクティビティで、学生の各々が防災計画の役割を担いました。避難計画や救援物資の配達などの役割です。私はその中でポーポキという人々の心をケアする役割になりました。この時に感じたのは、ポーポキは一人の登場人物としても捉えられるし、支援団体のような団体としても捉えられるということです。ポーポキを通して考えると、様々な視点で考えることができ面白く感じました。

加えて、ポーポキの性別はわかりません。防災計画の役割を担うのは男性、女性、どちらがふさわしいのかということ話し合ったときに、ポーポキの性別がなかったことから、ジェンダーレスとは何なのかを考えさせられました。

また、ポーポキを通して平和とは何なのかを考えたことは、ただ身の危険がない平和だけではなく、安心がある平和の事を考えるきっかけになりました。

このように、ポーポキを通して世界を見ることで、従来の自身の視点とはちがう角度から物事を見られるようになるなど感じました。ポーポキは新たな発見を助けてくれる存在だと思います。



これは、灘チャレンジで買ったポーポキのしおり(¥100)です。ポーポキもかわいいですが、お魚も気に入って購入しました。

ご協力お願いいたします！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10か国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com) へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!